

1 教育目標

.....線部は校区小学校との共通項目

(1) 本校の教育目標

【校訓】 正しく 強く 明るく

- 知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、実践力のある生徒の育成を目指す。

【目指す生徒像】 気づき、考え、実行し、振り返る生徒

- 不透明な時代を自ら切り拓く、心豊かで、しなやかに生き抜くために、行動目標として、自分の行動を振り返る生徒の育成に努める。
 - ア 創造性に優れ、知恵を磨く生徒
 - イ 健康で、活力に満ちた生徒
 - ウ 心豊かで、ともに生き抜く生徒
 - エ 地域を知り、郷土を愛する生徒

(2) 経営方針

Update - 磨く・高める・支える・響き合う -

自らの個性を生かして社会で活躍する人材の育成を目指して、生徒一人ひとりが自己を更新(Update)し続け、その先にある幸せ(Well-being)を学校全体で実現する教育活動を行う。

(3) 本年度の重点努力目標

ア【磨く】・・・「凡事徹底」による自立した個の確立

- ・ 時間や期限の遵守、丁寧な清掃、心を通わせる挨拶、真摯な授業態度を徹底し、自律のための基盤を整え、自分を律し、他者から信頼される「自立した大人」への成長を促す。

イ【高める】・・・「確かな学力」と「しなやかな(折れない)心」の育成

- ・ 変化の激しい時代を生き抜くため、基礎基本を徹底した上で、困難を糧にする柔軟なマインドを育成する。

【学習サイクルの確立】

失敗を恐れず試行錯誤し、自ら軌道修正できる「自己調整学習」の習慣の定着を目指し、ICTや生成AIを効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進する。

【多様な学習の場の設定】

- ・ 自衛隊やJICA等の外部機関、地域の民間企業による学習の機会を充実させ、地域に根差しつつ社会とつながる人材の育成を進める。
- ・ 「いのちの授業」や「情報モラル教育」、「人権教育」など3年間を見通した系統的な指導を行うことで豊かな人間性を育む。

【レジリエンスの向上】

日々の学習や生活の中で、自らの成長を実感できる場を設定することで、困難に直面しても、しなやかに立ち直る力を養う。

【発信力の強化】

確かな思考力・判断力・表現力を磨き、多様な正解がある問いに対しても、自分の言葉で粘り強く発信し続ける力を養う。

ウ【支える】・・・誰一人取り残さない学校づくり(全教職員による多面的な見守りと生徒同士の支え合い)

- ・ 多様な人との関わりを通して、生徒の成長を促す。

【「安心」を届ける教育相談体制の確立】

- ・ 不登校や心に悩みを抱える生徒が、安心して自分らしく過ごせる「オアシスルーム」を活用し、一人ひとりに寄り添った支援を行う。
- ・ 教育支援室「すまいる」やSC、SSWとも連携し、生徒や保護者の悩みに寄り添い、生徒の心の安定や生徒自身の成長を支援する。

【小中連携】

- ・ 小中交流会（12月）や小学校への出前授業（3月）等、小学校と連携した活動をより充実させることで、「中1ギャップ」の解消に努める。

エ【響き合う】・・・全員が「主役」で、誰もが幸せな学校を創る

互いの個性を「音色の違い」として楽しみ、集団としての幸せの最大化を目指す。

【学校行事や委員会活動の充実】

体育祭や文化祭等の行事や委員会活動を通じて、互いのよさや個性に触れながら一つのことを生徒の力で創り上げる経験を積み重ねることで、個々のよさを発揮できる環境をつくる。

【マナーと感謝】

互いを思いやるマナーを徹底し、誰もが「ここにいていい」と感じられる、心地よい緊張感と安心感が共存する居場所づくりをめざす。

【家庭・地域との交流】

保護者・地域による各種ボランティア活動や、保護者を対象とした日常的な学校開放を実施することで、生徒が社会の一員としての自覚をもち、生徒・家庭・地域が共に歩む「開かれた学校」を目指す。

オ【進める】・・・「校務DX」による教職員の働き方を「Update」する

- ・ 生成AIやICTを校務に積極的に導入し、教材研究や授業づくり、評価の方法を工夫することで、業務の効率化（DX）を図る。
- ・ 事務負担を軽減し、教員がより生徒一人ひとりと向き合う時間や教材研究の時間を生み出すことで授業の質向上へつなげる。

「心地よい緊張感」の中で、互いのよさを「響かせ合い」、
昨日より今日、今日より明日がもっと「happy」だと言える学校へ